

第13回 介護医療連携推進会議

宝塚清光苑 定期巡回サービス
管理者 村上建一

日時：平成29年12月19日（火） 10：30～11：30

場所：宝塚清光苑 地域交流室

出席者：自治会長様

民生委員様

宝塚市介護保険課担当者様

地域包括支援センター所長様

認知症対応型デイサービス管理者様

(宝塚清光苑出席者)

副施設長

グループホーム管理者

小規模多機能管理者

定期巡回サービス管理者

欠席者：連携先訪問看護ステーション所長様

第三者評価調査者様

1. 事業内容の報告

- ・ご利用人数 11月23名、12月19名
- ・平均要介護度 11月3.8 12月3.9
- ・ターミナルの方1名
- ・終了者について
有料老人ホーム入居1名、入院1名、ご逝去2名

2. 課題

- ・1月2名退職予定。人材確保が難しい。
 1. 訪問介護員の資格要件として、最低でも介護職員初任者研修終了でないといけない
 2. ご利用者様の入れ替わりが激しく、初めてのご利用者様にも対応できるスキルが求められる。
 3. 施設サービスと違い、常に一人で訪問するため未経験の方や、経験があっても臨機応変

な対応ができない人には難しい。

4. 主な移動の手段が原付バイクであり、冬の寒さがつらい上に事故の危険がある。

3. 質疑応答

・ご利用者数が 20 人前後となり、利益は出るようになったか？

(介護保険課担当者様)

→ご利用者様の介護度にもよるが 19 人、20 人位が損益分岐点である。

・スタッフ一人で訪問するため大変なサービスだと思う。

(民生委員様)

→在宅で安心して暮らし続けていただくことが定期巡回スタッフのモチベーションとなっている。

次回開催日 平成 30 年 2 月 27 日 10 時 30 分～